

災害事例

繰り返し型災害を防止しよう！

事故の型 ①墜落、②激突され 工 種 土工

被災者 男①(55歳)、男②(46歳) 発生日時 2017/7/17 12:30 PM

経験年数 ①10年、②2年 入場日 ①初日、②4ヶ月

発生状況

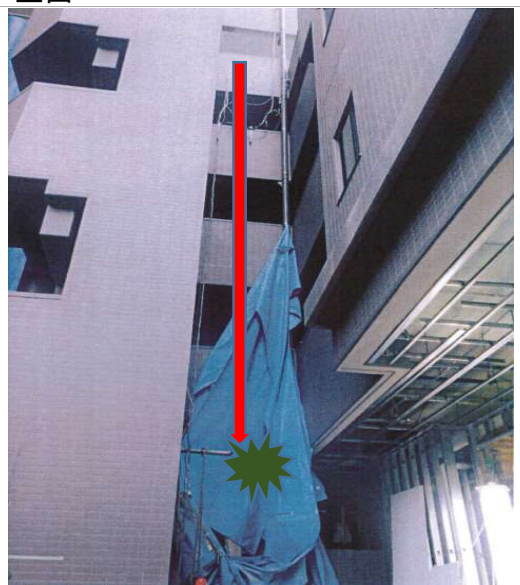
分譲マンション新築工事現場の5階バルコニーに置かれていた足場材料を本設エレベーターを使用して1階へおろす作業(人員2名)をしているときに、長尺の足場板(4m)が1枚残っておりエレベーターに乗らない為にロープを使用して荷卸しを行ったところ、5Fより荷下ろしをしていた作業員①が身を乗り出し誤って約12.4mの高さより1Fへ墜落し負傷(肩・肋骨ひび、打撲)した。その際、下で荷受けをしていた作業員②が墜落した作業員①を受け止めた反動(激突され)で後ろ向きに転倒して頭部、頸椎を負傷した。

天候:晴 32°C 風速約2m/s ・月齢 23 下弦の月

平面



立面



主な原因と対策

(原因)

- ・長尺足場板がELVに乗らないため、作業員の判断でロープで下ろすように作業方法を変更した。
- ・足場板を下ろすとき、下を確認するためパラペット端部の上に乗って身を乗り出した。
- ・下を確認するとき、安全帯を装着していたが使用しなかった。

(対策)

- ・作業方法を変更するときは、職長へ報告し作業方法、作業手順を改めて検討し、リスクを低減した作業方法、適正な作業員(鳶工)を配置して作業を行う。
- ・墜落する危険のあるパラペット端部の上には、絶対に乗らない。
- ・墜落する危険のある高所作業をするときは、必ず安全帯を使用する。